



レデスマ大司教

- 日時 : 2020年2月11日(火) 午後3時~5時(開場2時半)
参加費 : 無料、言語: 英語(日本語通訳有り)
場所 : カトリック大阪大司教館1階 会議室(大阪市中央区玉造2-24-22)
最寄り駅は JR・地下鉄玉造駅、JR・地下鉄森ノ宮駅よりいずれも徒歩13分から15分
主催 : 大阪大学社会ソリューションイニシアティブ
「共生対話の構築」プロジェクト(担当・松野明久)
後援 : カトリック大阪大司教区
問合せ先: matsuno@osipp.osaka-u.ac.jp Tel: 090-3272-4383 (松野)
申し込み: できればメールか以下のサイト(QRコード)でお申し込み下さい。(必須ではありません。)

フィリピンで長く続く紛争。少数の大土地所有者による支配や構造的貧困を背景として、フィリピン共産党(CPP)とその武装組織である新人民軍(NPA)が革命と社会変革を掲げて闘争を行っているのです。共産党は「国民民主戦線(NDF)」という組織を作り、政府と和平交渉を行ってきました。ドゥテルテ大統領が就任して、和平が実現するとの期待が高まりました。しかし、それも2018年に中止が発表され、社会運動家、人権活動家などの逮捕・殺害や軍による掃討作戦が始まりました。和平の希望も消え、人々はまた不安な暮らしに戻されてしまいました。そんな中、フィリピン・エキュメニカル・ピース・プラットフォーム(PEPP)は、紛争の根本的原因となっている土地問題や貧困の解決を求めつつ、政府とNDFの交渉再開を求めています。PEPPの共同代表としてこの平和運動の先頭に立つアントニオ・レデスマ大司教から、紛争の根本的な原因、貧困に苦しむ現地の状況、紛争の被害、和平の展望について話を伺います。

アントニオ・J・レデスマ大司教

1943年イロイロ市生まれ。イエズス会に入会。1963年司祭叙階。1996年イビル教区補佐司教に叙階。2006年カガヤン・デ・オロ教区大司教に任命、着座。

フィリピン・エキュメニカル・ピース・プラットフォーム(PEPP)

ノルウェー・エキュメニカル・ピース・プラットフォーム(NPEPP)の支援を受けて設立された、宗派を越えて連携する平和運動です。ノルウェー政府はフィリピン政府とNDFの和平交渉をファシリテートしており、官民連携してフィリピンの紛争解決にあたっていると云えます。Facebookがあります。

大阪大学社会ソリューションイニシアティブ(SSI)

2017年に大阪大学が設置したシンクタンク。「いのちを守る、はぐくむ、つなぐ」を掲げ、社会課題の解決に貢献する研究を行います。

● 講演会・フィリピンの平和を考える

アントニオ・J・レデスマ大司教(カガヤン・デ・オロ大司教区)
「フィリピンの平和に向けた長く曲がりくねった道
— 紛争の根本的原因と和平再開の呼びかけ —」

